

報道関係各位

2021年1月27日
株式会社センシンロボティクス

センシンロボティクス、狭小部点検サービス 『SENSYN EXPLORER（センシン エクスプローラー）』を提供開始

設備点検・災害対策・警備監視の領域を中心とする社会インフラ DX のリーディングカンパニーを目指す株式会社センシンロボティクス（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：北村卓也、以下センシンロボティクス）は、狭小部点検サービス『SENSYN EXPLORER（センシン エクスプローラー）』を提供開始したことをお知らせします。

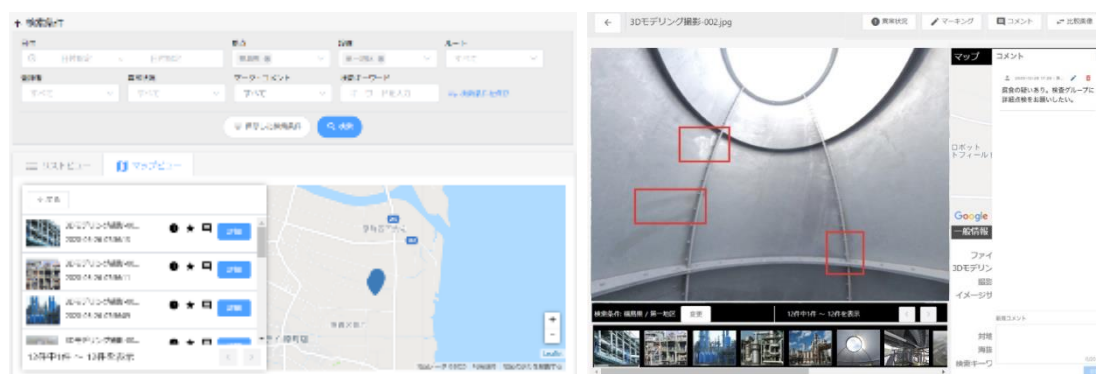


少子高齢化やインフラの老朽化を背景に、点検分野におけるドローン活用のニーズは年々高まっています。中でも煙突・タンク・配管内部、配管路等の狭所空間は人の立ち入りが難しく、小型点検用ドローンの需要が高く、ソリューションの実現は喫緊の課題とされてきました。

この度提供する『SENSYN EXPLORER』は、お客様のニーズに合わせて点検対象に最適なアプローチを行い画像・動画を取得、アウトプットを行うサービスです。独自のデバイスも含め適材適所の機種選択を行うことで、従来の足場を組み立てる作業を軽減、高所作業時の事故リスクなく、工期とコストを大幅に圧縮することが可能になります。

取得データの活用においても、サマリ報告はもちろん、3Dモデル、オルソ画像といったアウトプットの提供、データをクラウド管理・共有することも可能です。

今回のサービス提供にあたり、石油プラントや製鉄所など複数の施設内の暗所・高所・狭所空間で実証を行い、その有用性を確認しました。



撮影した静止画・動画を対象施設の画像/図面/3Dモデルに紐づけてクラウド上で管理（左図）

画像にマーキングやコメントを記載し共有するといった点検業務に必要な機能をサポート（右図）

【利用シーン】

1. 煙突・タンクなど高所の目視点検代替
足場設置費用の大幅なコスト削減
2. パイプ・ダクト・通気口など狭所閉鎖空間の目視点検代替
一般的なダクト（内径 50cm）であれば途中で障害物があっても飛行可能。
垂直方向上下に延びている場合でも飛行することで撮影可能。
3. 狭所空間全般の目視点検代替
集合管や天井部分など、点検時には足場が必要な場所での目視点検代替。

【サービス内容】

計画/管理からサマリ報告納品までを行うフルパッケージ、撮影を行いその場でデータをお渡しする素材提供プランなど、お客様の活用方法に合わせて柔軟に対応します。

センシンロボティクスでは、点検内容・対象に合わせたサービスを一気通貫で提供しています。自社開発機体も含めいくつもの機種を用意し、マルチベンダー体制で運用しています。顧客課題に応じたベストな組合せを実現することで、これまで容易には出来なかった「狭小部の点検」を実現可能にしました。

将来的には、ドローン以外のロボット活用も行い、屋内の設備巡回など、幅広い利用シーンにおける点検の実現を目指します。

【センシンロボティクスについて】 <http://www.sensyn-robotics.com>

センシンロボティクスは『ロボティクスの力で、社会の「当たり前」を進化させていく。』をミッションに掲げ、企業や社会が抱える課題を、ドローンをはじめとするロボティクス技術で解決する社会インフラ DX のリーディングカンパニーです。

豊富なプロジェクト実績で得られたノウハウを活用し、シナリオ策定から実証実験、実業務への定着化まで一気通貫で支援、老朽化する産業インフラや社会インフラの点検や、少子高齢化による労働人口の減少、激甚化する災害対策といった社会課題の解決を目指します。

本社所在地：東京都渋谷区恵比寿二丁目3 6 番 1 3 号 広尾MT Rビル7階

設立：2015 年 10 月

代表：代表取締役社長 北村卓也

【報道関係のお問い合わせ先】

CS&マーケティング部 広報担当：妹尾

TEL：080-2169-5823 E-mail：m-senoo@sensyn-robotics.com